

2024年発行 第62巻『保育学研究』特集論文・自由論文 応募要項

投稿論文につきましては、日本保育学会倫理綱領に従い、子どもの健全な発達とそのための保育活動を損なわないように、十分な配慮をしてください。また研究倫理についても十分遵守してください（ホームページ参照）。

1. 応募者

- ・5月投稿に関しては、2023年度の年会費を2023年5月20日までに納入していること。2023年度に新規入会の方は、2023年4月20日までに入会の申し込みをしていること、かつ5月20日までに必要な入金手続きをすべて完了していること。
- ・11月投稿に関しては、2023年度の年会費を2023年11月20日までに納入していること。2023年度に新規入会の方は、2023年10月20日までに入会の申し込みをしていること、かつ11月20日までに必要な入金手続きをすべて完了していること。
- ・各応募期間（5月・11月）において、投稿可能な論文数は、特集論文と自由論文を問わず、また執筆者・共同執筆者を問わず、1人1編とします。

2. 内容

- ・「論文」とは理論研究・実践研究を含みます。
- ・特集論文
2024年（第62巻第3号）テーマ「多様なニーズと保育」の内容は論文原稿公募の会報（第183号、2022年5月発行）ならびに本書、ホームページをご覧の上、執筆してください。
- ・自由論文
内容は保育学ならびに保育実践に関係あるものとします。
- ・投稿論文は、日本語に限ります。
- ・投稿論文は倫理的配慮がなされた未発表のものに限ります。既に学会誌、紀要、著書など

において公刊、あるいは公刊予定、投稿中の論文と内容が重複する場合は多重投稿と判断されることがあります。執筆者の倫理観が問われることとなりますので、十分気を付けてください。

3. 投稿について

- ・投稿方法は、電子投稿に限ります。
 - ・提出書類は、本学会の「電子投稿ページ」よりシステムへアクセスし、アップロードしてください。
 - ・同一の論文を同一の投稿期間に複数回投稿することはできません。
- ※電子投稿の手順については、「電子投稿マニュアル（執筆者用）」をご参照ください。

4. 提出書類

- ・以下をそれぞれ別のファイルに保存し、アップロードしてください。①～⑤は必須書類です。
- ① 論文原稿（Word ファイル）
図・表・事例等を入れて10頁以内
- ② 論文原稿（Word ファイル）
図・表・事例等を除いた文字原稿部分のみ
- ③ 図・表・事例等
- ④ 投稿前確認事項
- ⑤ 執筆者全員分の年会費の領収書のコピー等
- ⑥ 関係書類（付記に掲載のある論文等）
- ⑦ 承諾書等のコピー

5. 投稿期間

- ・2024年第62巻特集論文・自由論文ともに
2023年5月1日から5月20日23:59（日本時間）【システム表示時間5月20日10:59（アメリカ東海岸時間）】有効および
2023年11月1日から11月20日23:59（日本時間）【システム表示時間11月20日9:59（アメリカ東海岸時間）】有効とします。

6. 受付と受理

- 提出書類をアップロードし、新規投稿が完了すると、システムより投稿送信受付のお知らせが自動配信メールで届きます。これは、正式な受理のお知らせではないので注意してください。
 - 投稿に係る事項等の確認がある場合には別途お知らせメールが届きますので、投稿後もメールには注意をしておいてください。メールが届いた場合は、内容を確認し、作業をし直してください。
- その後、編集常任委員会において受理された論文にはシステムより投稿論文受理のお知らせがメールで届きます。これで、受理が完了となります。

7. 選考

- 受理された論文は編集常任委員会が、慎重かつ厳重な方法で選考し、掲載の可否を決定します。

8. 選考結果の通知

- 選考の結果は、システムよりメールでお知らせいたします。
- 選考の結果は、2024年第62巻 特集論文・自由論文ともに5月に投稿された場合は、2023年10月頃までに、11月に投稿された場合は、2024年4月頃までにお知らせいたします。
- 採択後の、論文の変更は認められません（標題も含む）。論文が変更されていた場合は、採択は「取り消し」となります。

9. 著作権について

- 採択された論文の著作権は一般社団法人日本保育学会に帰属し、採択された場合は、著作権譲渡誓約書を提出していただきます。ただし、採択された論文の公表は、執筆者個人およびその所属組織のWebサイト等において『保育学研究』発刊後、出典を明記すればこ

れを妨げません。

10. 編集常任委員会による論文の変更

- 論文を『保育学研究』に掲載する場合、標題等を若干変更することがあります。その場合は執筆者に連絡をして了承を得ます。

11. 校正

- 校正は執筆者本人の責任とし、再校正までとします。その際、論文の変更は認められません（標題も含む）。
- 英文校閲委員による校閲は行いますが、最終的な責任は執筆者本人によるものとします。

12. 費用の執筆者負担

- 図版作成に要するトレース代、および写真、図版の経費は執筆者負担とすることがあります。

13. 抜刷について

- 掲載された論文の抜刷を30部お送りします。それ以上必要な場合は、実費負担となります。希望者は、校正時にお送りする書類でお申し出ください。

14. その他

- 論文が『保育学研究』に掲載される方は、希望冊数分の保育学研究を割引価格でお分けできます。詳しくは別途お知らせいたします。

15. 問い合わせ先

- 執筆、投稿などについて疑問がある場合は、一般社団法人日本保育学会事務局へお問い合わせください。

~~<Email hoiku@fj8.so-net.jp>~~

<Email hoiku.journal@jsrece.jp>

- 投稿論文に関する最新の情報は、日本保育学会ホームページをご確認ください。